

植物楽園

Made with a nature material

2012年春夏、ライトオンではプライベートブランド“BACK NUMBER”より様々な天然素材を使用したシリーズ“植物楽園”を展開いたします。カポック、ヘンプ、バンブー、スーピマ、ヒノキ、パイナップルの全6種類の天然素材を織り交ぜたコットン生地を使用したイージーパンツ。各素材により、肌触りや生地感の特徴が違い、デザインやカラーも異なり、裾はロールアップしても落ちてこない仕様。素材の植物をモチーフにしたフラッシュャー、チップ、ワッペンもポイントです。



PINEAPPLE

混紡素材

パイナップル (英語名:Pineapple)
パイナップル科の多年草。
学名: Ananas comosus.
パイナップル繊維は、繊維用に栽培されたパイナップルを使用し、フィリピンでは“Pina” (ピーナ) と呼ばれ、礼服などに使用されています。またクイーンオブファブリックとも呼ばれる高級素材として扱われています。



KAPOK

混紡素材

カポック (英語名: kapok)
アオイ科 (クロンキスト体系や新エングラ体系ではバンヤ科) セイバ属の落葉高木。
学名: Ceiba pentandra.
カポックの実から採れる繊維は撥水性に優れた枕などの詰め物や救命胴衣にも利用されていました。
この繊維が油を大量に吸収することから油吸収材としても使用されています。



SUPIMA COTTON

スーピマ100%

スーピマは超長繊維綿と呼ばれ、繊維が最も長い種類の最高級コットンです。スーピマ (Supima) とは、品質に優れたアメリカ産ピマコットンに与えられる品質保証ブランドで、きれいな表情とソフトな風合いが特長の素材です。

これまでに触れたり食べたことがある身近な植物を繊維状に加工し生地に織り上げました。



HINOKI

混紡素材

ヒノキ (英語名: Hinoki cypress)
ヒノキ科ヒノキ属の針葉樹。
学名: Chamaecyparis obtusa.
ヒノキは、日本の歴史的建築物に多く使われている建築材料で、現在も建築物の高級材として使用されています。
ヒノキ混繊維は、木材加工で不要となった樹皮を有効活用して作られたエコロジー繊維です。



BAMBOO

混紡素材

タケ (英語名: Bamboo)
広義には、イネ目イネ科タケ亜科の常緑多年草で大型になる草本植物。
学名: Phyllostachys.
バンブーは、手に入りやすく、削る・曲げるなどの加工がしやすい。籠や釣竿など道具の材料として使われ、現在も伝統工芸品などに多く使われています。



HEMP

交織素材

ヘンプ (英語名: Hemp)
アサ科1年草の双子葉植物。
学名: Cannabis sativa L.
ヘンプは、和名で大麻草 (たいまそう) と呼ばれ、品種に繊維型と薬用型があり特に繊維型の品種がヘンプ (Hemp) と呼ばれています。近年、環境エコロジーの観点から再認識され、繊維以外の紙や料理油、バイオ・エタノール燃料などにも利用されている資源作物です。

Back Number® Plant paradise

ブランド : Back Number シルエット : ストレート
素材 : 全6種類 価格 : ￥5,900-(税込)
カラー : 全6色 サイズ : S/M/L/XL
発売日 : 2012年3月21日より発売予定

【 本件に関するお問い合わせ 】 ライトオン プレスルーム 03-3770-3400 中西: r_nakanishi@right-on.co.jp
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-12-16アジアビル7F

【 PRESS CONTACT 】 PEACH 03-5411-2288 中村: nakamura@peach-pr.com 石井: ishii@peach-pr.com